

コンビニや工場、農村の収穫作業、カキむきなど水産加工業…。現在の日本では多くの外国人が各地で働き、生活しています。日本で暮らす外国人と日本人が会話するうえで共通語は何語？ 日本語学の専門家、一橋大学教授の庵功雄教授に聞きました。

(豊田栄光)

3/18

一橋大学教授

庵功雄さんに聞く



いおり・いさお 1967年生まれ。一橋大学国際教育センター教授。著書に『やさしい日本語』ほか

定住外国人と多文化共生

「やさしい日本語」を共通語に

外国人とのコミュニケーションといえは英語を思い浮かべます。しかし、英語は日本人にとっても大変ですが、日本で暮らす外国人にとっても同じなのです。

国立国語研究所の全国調査で、母国語以外でわかる言語を問うと、日本語62・6%、英語44%（複数回答可）でした。広島市だけでなら日本語70・8%、英語36・8%でした。日本で暮らすとなると、共通言語になりえるのは「やさしい日本語」です。

は、一言でいえば、日本語を簡単な日本語に翻訳した日本語のことです。

1995年の阪神・淡路大震災のときに、公園に次のような紙が貼られました。「容器をご持参の上、中央公園にご参集ください」

日本滞在期間が短い外国人にはこれは難解です。でも、書き換え、フリガナを振れば全然ちがいます。「入れるものを」

持って、中央公園に集まってください。これは災害時の事例ですが、平時でも同じ発想で使うのが「やさしい日本語」です。

互いに相手に寄り添う必要

外国人を移民労働者として受け入れることのは非は置くとして、現実には「技能実習生」「日系人」「配偶者」「留学生」などの資格で日本で暮らし、就労している外国人はたくさんいます。2014年度、日本に定住する外国人は212万人です。

外国人を物言わぬロボットのように、危険、汚い、苦しい「3K」労働をしてくれる存在と考えるのはナンセンスです。日本で暮らす対等な人間、同じ日本を構成する人間として考えるべきです。

これまでは、日本人の日本語レベルになれば、日本社会に入れてあげると、という考えでした。

でも、日本語ができないというだけで、無能扱いされたら傷つきます。お互いに相手に寄っていくことが必要です。それでこそ互いに良き隣人になれます。共通言語「やさしい日本語」の出番です。

具体的な例をいうと、相手の外国人が理解していないと感じれば、言い換えることです。「公共交通機関を利用してください」は、「バスやタクシー、電車で来てください」とします。

地域の安定につながるもの

説明は短く簡潔にし、会話中に「分かりますか」と確認することも大切です。難しい言い回しはしないことです。「納付してください」ではなく「お金を払ってください」です。

日本人が無意識に使っている日本語を、相手に合わせて調整していかないと、使っていたらいいと思いません。

ければ「やさしい日本語」は成立しません。外国人にとって言葉の壁が低ければ、それだけ日本の「居場所」を作りやすくなります。それは安定した地域社会をつくることにもつながります。

外国人の親の世代が社会的に孤立しなければ、子の世代も日本社会に溶け込みやすくなり、ドロップアウトも減ります。むしろ新しい納税者として日本に貢献してくれるでしょう。

日本人にとっても、自分の言いたいことを簡潔にまとめ、相手を説得する訓練の場にもなります。多くの国民のみならず、「やさしい日本語」という考え方を知らなかったら、使っていたらいいと思いません。

